

年間第六主日

福音朗読 ルカ 6・17、20-26

2022.2.13

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高神父

今日の今聞いた福音は、マタイ福音書の最初のお言葉と同じようです。あの時は、イエス様は山の上で旧約聖書のシナイの山を思わせる神様のみ言葉を人々に語られました。今日の今聞いたルカ福音書では、イエス様は山ではなくて平らな所にいらっしゃって、わたしたちが生活しているその同じ地平に立って、わたしたちに呼びかけていてくださいます。集まった人々、特にイエス様に付き従って来た弟子たちにイエス様はその^{まなこ}眼を向けてくださいます。ここに集まったわたしたち一人ひとり、そのイエス様の眼差しを感じとりながら、イエス様が今日わたしたち一人ひとりに語ろうとしておられること、イエス様のお言葉を深く受け留められる恵みを願いながら、今日の福音を味わいたいと思います。

今日のルカ福音書のイエス様のお言葉は、わたしたちが歩いて行く、イエス様に従う者たちの道を示してください。イエス様が進み行かれる道は十字架への道であることをわたしたちは知っています。そのイエス様のみ後に従って、イエス様の弟子として歩もうとしているわたしたち一人ひとりの道もイエス様が歩まれた道です。十字架への道です。

今、この世のわたしたちの生活の中でどのような苦しいことが、どのようなわたしたちの意図と反することがわたしたちの周りに起ころうと、そのイエス様に従う道においては、今の苦しみは、イエス様が十字架の道を通して父なる神様の大きい力によって今生きておられる復活の命の中に通じる道。「わたしは道であり、真理であり、命である」(ヨハネ 14・6)とおっしゃっておられるイエス様のお言葉を信じて、そのイエス様に従う者たちとして、イエス様が歩み通されたこの道を、わたしたちも信仰の恵みの中で歩み通すことができますように。どのようなわたしたちの意図と反することがわたしたちの身に起こる

うと、どのようなことがわたしたちの歩む道の前途に立ちはだかろうと、それを越えて、イエス様が招いてくださるこの信仰の道を、イエス様を信じて、イエス様のみ後に従うこの道を歩み通す恵みを願って、今日のこのミサを共に
お捧げしたいと思います。